

沖縄 FW6 日目（10月13日）

「いよいよ、世界のウチナーンチュ大会へ」

文責 石原 佳奈

世界のウチナーンチュ大会がいよいよスタートします。メインイベントは夕方からの世界のウチナーンチュ大会開会式。来沖 6 日目とそろそろみんな疲れが溜まってきているということで、午前中は自由行動になりました。

朝、宿舎からタクシーでゆいレール首里駅へ（沖縄には鉄道はありませんが、モノレール”ゆいレール”が那覇空港から那覇中心部を通って首里周辺まで通っています）。そこからゆいレールにのって各自思い思いの場所へ向かいました。



（写真1）ゆいレールにて。一番前の運転手の後ろの席。モノレールは下が見えるので遊園地気分。

私は一足先に県立博物館・美術館のあるおもろまち駅へ！ショッピングセンター会サンエー那覇メインプレイス内の書店”球陽堂書房”で沖縄の本探し。何も買いませんでした。が、沖縄に関する本の多さにびっくりしました。普段首都圏では本屋で地元を意識することはあまりないと思います。沖縄の比較的大きめの本屋には沖縄コーナーがあります。基地関係や、沖縄文化、沖縄戦に関する本や、沖縄に関する漫画エッセイまでおいてありました。基地問題や沖縄文化、歴史に関するものが売れ筋のようです。

次に一階にある食品館（スーパー）をぶらぶらしました。沖縄の人々の生活を感じられ場所だと思います。普段行く東京のスーパーと同じようで違う空間。ゆしどうふ（沖縄豆腐）、豚肉、泡盛、沖縄のお菓子、さんぴん茶（ジャスミン入り緑茶）。沖縄ならではの食材が並んでいました。印象的だったのはゆしどうふ（沖縄豆腐）が袋入りで暖かいまま売られていたこと！できたてなのでしょう。私は安いからとお土産にお菓子、泡盛、豚足、シークワサーボン酢、さんぴん茶、ポーク、ルートビア（アメリカ製炭酸飲料）などを一人大量に購入し、荷物が重くなりました。これが後々私を苦しめることに。。。

沖縄 FW6 日目（10月13日）



(写真2) 沖縄料理に欠かせない”ポーク”(スパム等の豚の加工品の缶詰)。

その後県立博物館の常設展(学生250円)へ。あまりに荷物が重そうだったのか受付の方に荷物を「預かりましょうか?」といわれ、ありがたく常設展見学の間預かってもらいました。



(写真3) 沖縄県立博物館・美術館。

常設展では沖縄の自然、文化、歴史が展示されています。解説ビデオが充実していて、時間があればもっとじっくり見て回りたかったです。特に沖縄の歴史を重点的に見学しました。古代から近代までの沖縄の歴史が学べます。尚氏や薩摩侵攻や沖縄併合など、「日本史」では学ばない琉球/沖縄の歴史について知ることができました。同じ日本のなかにも沖縄(琉球)には独自の

沖縄 FW6 日目（10月13日）

歴史や文化があることを改めて実感しました。沖縄について、今回勉強するまで何も知らなかったと思います。この博物館だけではないですが、今回の沖縄滞在で改めて自分がもつ歴史、ルーツについて考えさせられました。自分の「歴史/ルーツ」とはなんなののでしょうか。このように、自分たちの歴史や文化を学ぶ機会はありませんか。特に政治的な問題をこの博物館のように公式に語ることは日本本土ではタブーとされているのではないのでしょうか。

見学後荷物を受け取り、博物館前にあるコンビニ（ローソン）でお昼ご飯を買いました。コンビニにも沖縄ならではのものがたくさんあります。ポーク玉子おにぎり（前述のポークと卵焼きが挟まったおにぎり。200円前後）とおでん（てびち、沖縄厚揚げ）を買って博物館前で食べました。おいしかったです。ポーク玉子は食堂や居酒屋などでも定番メニューです。私はポーク玉子おにぎりを滞在中 4-5 個食べました！野沢菜入りがおすすめです。



（写真4）おでん。てびち（豚足）と沖縄厚揚げ。

14時に全員集合し、移民資料展を見学しました。横浜にある海外移住資料館から提携した資料や、沖縄の移民についての資料があります。これまでの滞在ではあまり触れてこなかったのですがゼミでは移民・エスニシティを勉強しています。沖縄からの移民の歴史やそれに関する資料（パスポート、渡航した船に関する資料等）、渡航先での沖縄系移民の写真などが展示されていました。みんな真剣に見学していました。戦後苦しかった沖縄へハワイから沖縄系移民が豚を数十頭送ったエピソードを舞台化した、「海から豚がやってきた！」の制作ドキュメンタリー映像やそれに関する写真パネル展もありました。沖縄系移民と沖縄のつながりを、沖縄戦後の苦しい沖縄への援助にも見ることができます。

沖縄 FW6 日目（10月13日）



(写真5) 移民資料展見学風景

その後、各自県立博物館・美術館を見学。子ども向けの体験コーナーでは、沖縄のハーブのにおいをかいだり、三線をひいたりできます。



(写真6) 三線を弾く高野君。後日彼は三線を購入しました。

いよいよその後奥武山公園駅に向かいセルラースタジアムへ！

沖縄 FW6 日目（10月13日）



(写真7)スタジアムの中。出身地ごとにお揃いの T シャツや衣装を来ていました！

スタジアムの周りではワールドバザールという世界の国々・沖縄の名物の屋台やショップが並んでいます。開会式では各国おそろいの T シャツをきたり、出身地コール、沖縄コールが鳴り響き盛り上がっていました！特にブラジルとハワイ出身の声が大きかったと思います。入場セレモニーや仲井真沖縄県知事、ハワイ知事などの挨拶がありました。進行や翻訳も全て4カ国語（日英葡西）。各国代表の入場や、地元小学生のマスゲームパフォーマンスがありました。途中でお腹がすいたのでスタジアム周辺で行われているワールドバザール（でトルコ名物ケバブを購入しました。



(写真8)ケバブ。トルコ料理です。

売っていたトルコ人のおじさん（お兄さん？）はとても気さくな方でした。私の家の近くに住んでいたこともあるとか。

中学3年生が歌うテーマソングのライブがあり、最後はエイサーで締めです。エイサーは元々沖縄中部の一地方の踊りだったにもかかわらず今は沖縄の象徴となっています。ここで語らルール「沖縄」のイメージは私たちが持つイメージとそう大差ないように感じました。しかしこの滞在ではそれだけではない「沖縄」を感じました。「世界のウチナーンチュ大会」がどのように表現されているのか、沖縄が作り出すイメージがこんなところでもみえてくるのではないのでしょうか。

沖縄 FW6 日目（10月13日）



(写真9)エイサーの様子。

終盤雨が降ってきて、屋根のない外野席の私たちは会場を後にしました。各自ワールドバザールの見学等をして帰宅しました。沖縄に来て6日目。毎日朝から晩まで考えること、感じる人が多いです。